

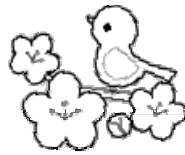


行事予定表		
2	火	豆まき / 巡回相談
3	水	たいようぐみ・そらぐみ「歌・合奏」撮影日
4	木	たいようぐみ・そらぐみ「劇」「オペレッタ」撮影日
5	金	給食費振替日(3歳児以上)
8	月	たいようぐみ・そらぐみ動画配信日
9	火	だいいちぐみ発表会ごっこ撮影日
10	水	リトミック(3歳児以上)
12	金	交通安全教室(5歳児) / だいいちぐみ動画配信日
16	火	ほしぐみ発表会ごっこ撮影日
17	水	おべんとうデー
18	木	カレーの日 / ほしぐみ動画配信日
25	木	誕生会
26	金	避難訓練(通報訓練)

年が明け、寒暖差が大きい日が続いています。
暦の上では、立春、節分と、もう春ですがまだまだ寒さ厳しい日があります。
先日、子ども達と餅つきをしました。「ヨイショ ヨイショ」の掛け声。高貴光吉とふたばっ子の競演。楽しい餅つきでした。

子ども達は、相変わらず元気です。ドッチボール、鬼ごっこ、サッカー、縄跳び・・・
新型コロナウイルスは、近寄れません。

しかし、徐々に身近に迫っています。子ども達の樂園は、何としても守り抜きます。どうかご協力下さい。



「発表会」

・発表会は中止になりましたが、子ども達は園内で「発表会ごっこ」を楽しんでいます。本園の発表会は衣装や被り物もアイテム2・3個でそれほど衣装に凝ったものではありません。自分たちで作れる小道具等は、子ども達の手を加えています。大人は見た目を重視しがちですが、子ども達は、お面一つ付けただけでも、その役に成りきることが出来ます。練習も行いますが、「楽しむ」事を前提にして、一人一人が自己發揮出来るように、配慮していこうと考えています。今回は、お子さんと一緒に動画を楽しみなから、他の子と比べることなく、お子さん自身の頑張りを見つけ、言葉にして伝えて下さい。子ども達は、保護者の方々の言葉が心の栄養になります。どうぞよろしくお願い致します。

今月の予定かろ

●豆まき&おにぎりデー(2日)



・ヒイラギの葉を、ぞうグループの子ども達が採り、イワシの頭で「やいかかし」を作り、保育室前に魔除けとして飾っています。当日は「鬼を切る」の意味を込め、おにぎりを食べて、心の中の鬼を退治します。豆まきを行います。今年から、誤飲の恐れがあるため豆は食べませんが、(1/20 消費者庁から固い豆やナッツ等は5歳以下には食べさせないようにと注意喚起がありました。)

●交通安全教室(12日)

・年間を通してシートベルト着用の大切さを子ども達に伝えていきます。子どもの命を守るのは、大人の意識次第ですね。

●誕生会(25日)

・今月は、ペーパーサートですが、子ども達も出し物に興味をもち楽しむようになりました。

☆おしらせ★お願い

☆今年度製作した子ども達の作品を入れて持ち帰る作品袋の代金100円を5日納入袋で徴収させて頂きます。

☆だいいちぐみの松田可奈先生が22日から

産休に入ります。育休後に復帰予定です。

☆R3年度の入園式は

4月3日(土) 9時半〜午前中です。

・新入園児だけで入園式を行う予定です。今年度は、進級式は行いません。大変申し訳ありませんが、当日の土曜保育は実施致しませんので、ご協力をお願い致します。

「動物園 やがて悲しき 檻の中」

昨年10月に、千葉市動物公園に全園児で行きました。子ども達は、前日からワクワクしていた様で、4時に起床した子もいました。朝が早かったせいか、出発と同時に「お腹すいた」と言い出しました。1時間もすると、今度は「動物園まだ？」の連発。「動物園にいる園長先生のお友達も、待っていてくれるから、もう少し待って」とお願いしました。動物園に着くと、沢山の幼稚園児と小学生で、賑わっていました。コロナのせいか、保護者同伴はいませんでした。象さんから順に見て回りました。▼おやつの間になると、おやつを食べると、追い回されました。おやつは苦手です。一段落すると、今度は、暴れん坊グループが、戦いを挑んできました。防戦し、捕まえては投げ、振り回すが、疲れて、カンベンしてくれと逃げると、「エンチヨーゴリラ、待てー」と追いかけてきます。面白そうに見ていた上品な制服の他の園の子まで「エンチヨーゴリラ待てー」と参戦してきました。その子たちの園長先生が「若い園長さんは、元気でいいですね」と言いました。多分、私より若いと思います、何も言いませんでした。▼昼食後「園長先生のお友達に会いにいこうぞ」とゴリラ舎に向かいました。彼等が、千葉市動物公園にやって来た頃からの付き合いです。当時は、2頭で取っ組み合って、楽しく遊んでいました。青壮年期になると、私が「ングー」と鼻を鳴らし、挨拶すると、草を投げたり、ドラミングをして威嚇してきました。近頃は老い

て、毛の艶もなくなり、すっかりおとなしくなっています。声も掛けず、チラッと一瞥するだけです。静かに座って考え込んでいます。寂しいかぎりです。隣のチンパンジーは、世代交代して元気です。私が「ホッホー」と声をかけると、高いところで寝ていたリーダーが、サッと立ち上がり「ホッホー」と答えました。私が大きく手を振ると、彼も大きく手を振りました。周りにいた先生と子ども達が、エッ？という顔をして、私と彼とを交互にながめて、「知ってるの？」と、言いました。私がこちら側のリーダーと思っているのか、いつも私をめぐがけてフンや土や草を投げてきます。私は慣れているので、「来るな！」と言う時に、サッと除けることができますが、近くの子も達が、犠牲になります。▼その後、バスの中からずっと「ライオン、ライオン」と言っていた子ども達が、急かせるので、ライオン舎に急行しました。近くに来ると、ライオンの咆哮が聞こえてきました。外に出て、ガラス一枚で迫力満点です。すると、あれほど「ライオン、ライオン」とうるさかった子が、急に顔を強張らせ、私のお尻にしがみついてライオンに見向きもせず、今度は早く次に行こうとせかせせしました。▼帰園後の職員室は、私と子どもと動物の話で大盛り上がりだったそうです。あるお母さんが「子どもが動物園で、園長先生のお友達に会ってきたと言っていました。園長先生は動物園にも、お知り合いがいらっしやるんですね」と言いました。私は、またまた何も言いませんでした。そうです。私は彼等のお知り合いなのです。だから、彼等に会えるのは楽しいのですが、囲いの中にいる彼等と、自由なジャングルを思うと、寂しく、悲しくなるのです。

コロナ禍の中で、暗く窮屈な日々が続いているので、今月は、子ども達との笑い溢れる、明るい便りにしました。

理事長 浅田 精利

